

《報告》

## 山口県で記録されたサドヤマトガイとカサネシトラガイ

増野和幸

豊田ホタルの里ミュージアム, 〒750-0441 山口県下関市豊田町大字中村 50-3

### はじめに

林床に生息する殻径が 10 mm 以下の微小な陸貝は, 野外で目視による直接の採集はむづかしく, 実際にその地域に生息しているかどうかの判断には困難を要する. 筆者は県内各地の微小種を調査しているが, もっぱら現地で林床の落葉層 (リター) をシフター (篩い) を用いて採取し, それを持ち帰り実体顕微鏡下で選別採取する作業を行っている. こうした過程を通して生息していないと考えられていた地域で, 新たに生息の確認がされる場合がある.

今回の報告では筆者がこれまでに把握している文献等による記録と現地調査による記録とをまとめて, 微小種 2 種, サドヤマトガイとカサネシトラガイの記録を報告する. 県内の記録は採集地, 採集日 (yyyy. mm.dd), 採集个体数, 採集者の順に示す. 採集日が不明な場合は「?」を付す.

### 1 サドヤマトガイ *Japonia sadoensis* Pilsbry & Y. Hirase, 1903

ヤマタニシ科 Cyclophoridae に属する殻径約 5 mm, 殻高約 4 mm の微小貝. 殻は低い円錐形で薄く, 全体が濃茶褐色で, 表面に微細な螺脈を有し, 体層に成長脈に沿って 2 列の殻皮付属物 (毛状) がある. 殻口は円く, 縁は薄く肥厚しない. 臍孔は小さく殻径の 1/5 ほど. 角質の蓋は円形で薄く, 多旋型である. 関東・新潟県以西の本州, 四国, 九州に分布する. 山地の比較的乾燥した落葉や小さなレキ中に生息する. 生息地は局限的で個体数もきわめて少ない. 中国地方では岡山県の記録 (岡山県環境文化庁自然環境課, 2020) のほかはなく, 山口県の記録は貴重である.

山口県内の産地は 8 ケ所. 筆者が記録したいずれの産地も生息環境は常緑広葉樹の林床で, やや乾燥した場所. 比較的容易に人為的な開発が加わる場所であり, 森林の伐採や宅地開発など生息を脅かされかねない状況である.

本種は環境省 RDB では準絶滅危惧, 山口県 RDB では絶滅危惧 I 類に指定されている. なお, 「レッドデータブックやまぐち 2019」の中の本種解説において, 県内分布地として “光市” の記述があるが, 正しくは “柳井市” であることをここに訂正して報告する.

#### 【山口県の記録】

- ・ 岩国市城山 (標高 512m), 採集日記載なし, 4 exs., 河本卓介 (河本・田邊, 1956) (山博 No. 204)
- ・ 熊毛郡上関町皇座山 (標高 527m), 1989.8.2, 2 exs., 藤原廣治・伊藤賢司採集 (藤原, 1990)
- ・ “ ” , 1992.4.6, 5 exs., 増野和幸
- ・ “ ” , 1997.11.?, 採集个体数不明, 藤原廣治
- ・ “ ” , 採集日不明, 1 ex., 吉崎 宏 (増野, 2008)
- ・ “ ” , 2017.7.23, 2 exs., 矢野重文
- ・ 柳井市 (詳細不明), 1989.8.?, 採集个体数不明, 藤原廣治
- ・ 岩国市錦町深川雙津峡, 2016.2.25, 1 ex., 増野和幸
- ・ 萩市福井下牧ノ滝付近, 2017.8.12, 1 ex., 増野和幸
- ・ 下関市豊浦町宇賀湯玉鳥井ヶ峠, 2018.9.27, 2 exs., 2019.3.1, 4 exs., 増野和幸 (増野・川野, 2020)

- ・下関市菊川町上岡枝歌野養魚場付近, 2020.10.7, 7 exs., 増野和幸 (増野・川野, 2021)
- ・下関市高畑霊鷲山, 2022.7.5, 1 ex., 増野和幸 (増野・川野, 2023)

## 2 カサネシタラガイ *Sitalina insignis* (Pilsbry & Y. Hirase, 1904)

シタラ科 *Euconulidae* に属する殻径約 2 mm, 殻高約 1.6 mm の微小貝。殻は薄く, 各螺層の縫合が深く, 側面が階段状になる。周縁角は鋭く竜骨状 (キール) になる。殻色は淡褐色で光沢はない。殻表面に細く弱い約 6 本の螺状脈が見られる。臍孔はわずかに開きすぎ間状。タイプ産地は高知県であるが, 関東地方以西の本州・四国・九州の山地帯に分布している。中国地方では山口県以外に鳥取県 (宇野, 2006), 岡山県 (岡山県環境文化部自然環境課, 2020), 島根県 (増野・川野, 2018) で記録があるが, 各地とも個体数は少ない。

山口県内では 8 ケ所で記録されている。各産地とも中国山地とその周辺の山系で, 森林の林床での記録である。本種の生息は平地・里山というよりは, 山地・山岳部に限定されている。産地は局限され個体数もきわめて少ない。

本種は環境省 RDB では準絶滅危惧, 山口県 RDB では絶滅危惧 IB 類に指定されている。

### 【山口県の記録】

- ・萩市川上長門峡遊歩道斜面, 1999.5.22, 1 ex., 増野和幸 (増野, 2000)
- ・萩市川上江舟 (阿武大橋手前), 2018.3.26, 3 exs., 増野和幸
- ・岩国市錦町深川雙津峡, 2016.2.25, 22 exs., 増野和幸
- ・岩国市錦町宇佐郷小山田, 2016.2.25, 5 exs., 増野和幸
- ・岩国市錦町寂地山 (900 m 付近), 2016.3.30, 4 exs., 増野和幸
- ・岩国市錦町寂地山犬戻ノ滝付近 (900 m), 2016.7.11, 1 ex., 増野和幸; 1 ex., 矢野重文
- ・岩国市錦町寂地山ブナ林 (1000 m 付近), 2016.7.11, 3 exs., 増野和幸
- ・周南市須万秘密尾氷見神社社叢 (515 m), 2017.7.22, 5 exs., 矢野重文

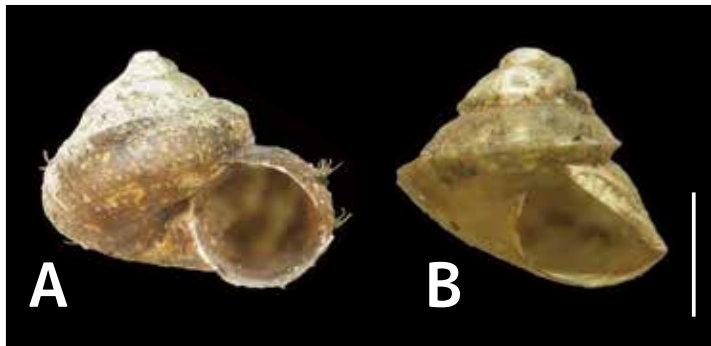


図1. 微小貝のサドヤマトガイとカサネシタラガイ  
A. サドヤマトガイ (下関市豊浦町鳥井ヶ峠) 図中スケール=2.5 mm; B. カサネシタラガイ (萩市川上江舟) 図中スケール=0.8 mm.

### おわりに

今回の記録をまとめるに当たり, あらためてデータを記録することの重要性和採集した標本の管理を厳正にすることを痛感した。また, 記録を公にすることによりさらにデータが集約され, 記録としての意義が増すことが期待される。なお, 今回の記録以外に筆者が把握できていない記録もあると考えられる。今回貴重な記録を寄せられた多くの方, また, 収蔵標本の確認において便宜を頂いた大森鑑能氏 (山口県立

山口博物館) に対して記して感謝の意を表す。

### 参考文献

- 愛知県環境部自然環境課 (2020) レッドデータブックあいち 2020 動物編 貝類 1, 2. [https://kankyojoho.pref.aichi.jp/rdb/pdf/animals/rdb/11\\_貝類\(EX~EN\).pdf](https://kankyojoho.pref.aichi.jp/rdb/pdf/animals/rdb/11_貝類(EX~EN).pdf), [rdb/pdf/animals/rdb/12\\_貝類\(VU\).pdf](https://kankyojoho.pref.aichi.jp/rdb/pdf/animals/rdb/12_貝類(VU).pdf).
- 藤原廣治 (1990) 山口県産サドヤマトガイの新産地. 山口県の自然, (50): 39-40.
- 環境省自然環境局野生生物課 (2020) 環境省レッドリスト 2020 貝類. [https://ikilog.biodic.go.jp/rdbdata/files/redlist2020/redlist2020\\_kairui.csv](https://ikilog.biodic.go.jp/rdbdata/files/redlist2020/redlist2020_kairui.csv).
- 河本卓介・田邊澄生 (1956) 山口県産貝類目録. 1-viii+170pp. (25pls. を含む). 山口県立山口博物館.
- 増野和幸 (2000) 川上村の動物貝類 (pp. 319-335) in 川上村史資料編. (384pp.). 川上村, 防府.
- 増野和幸 (2008) 自然観察ガイドブック作成のための基礎資料 上関町の非海産貝類. i-iii+42pp., 自刊, 山口.
- 増野和幸・川野敬介 (2018) 島根県における陸産貝類, 特に微小種を中心として. ホシザキグリーン財団研究報告, (21): 103-132.
- 増野和幸・川野敬介 (2020) 下関市豊浦町の陸産・淡水産貝類. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (12): 1-37.
- 増野和幸・川野敬介 (2021) 下関市菊川町の陸産・淡水産貝類. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (13): 19-54.
- 増野和幸・川野敬介 (2023) 旧下関市西部の陸産・淡水産貝類 (汽水産を含む). 豊田ホテルの里ミュージアム, (15): 23-68.
- 湊 宏 (1985) 日本産ヤマトガイ属の2新種. *Venus*, 44(2): 81-86.
- 西 邦雄・西 浩孝 (2018) 宮崎県のカタツムリ. 149pp, 黒潮文庫, 宮崎.
- 岡山県環境文化部自然環境課 (2020) 岡山県レッドデータブック 2020 動物編 7 軟体動物. [http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/920069\\_8802110\\_misc.pdf](http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/920069_8802110_misc.pdf).
- 大垣内宏 (1971) カサネシタラガイの新産地. ちりぼたん, 6(5): 113-114.
- 宇野 明 (2006) 鳥取県におけるカサネシタラガイの記録. 山陰自然史研究, (2): 34, 鳥取県生物学会.
- 山口県環境生活部自然保護課 (2019) レッドデータブックやまぐち 2019 山口県の絶滅のおそれのある野生生物. [https://www.yamaguchi-rdb.com/site/class\\_category\\_list.php?category=LandAndFreshwaterSnails](https://www.yamaguchi-rdb.com/site/class_category_list.php?category=LandAndFreshwaterSnails).